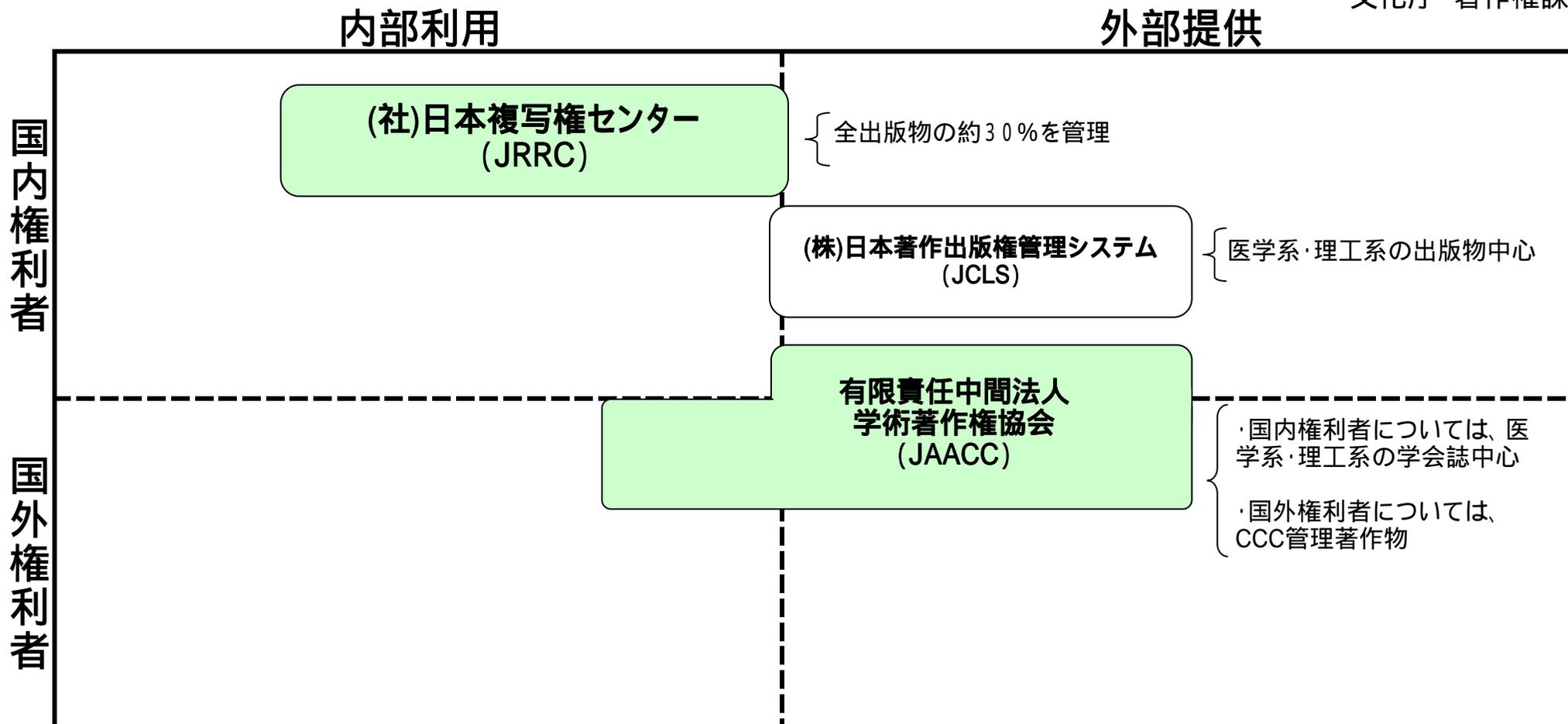


複写分野における集中管理の全体像について

資料1 - 1

平成17年5月27日
文化庁 著作権課



(注1) CCCは、米国の複写権管理団体であるCopyright Clearance Centerのこと。

(注2) 複写に関する管理事業者として日本出版著作権協会もあるが、実質的な活動は行っていない。

(注3) 表中の図の大きさは、使用料徴収額の規模等に基づいたものではない。

…一任型 (管理事業者が使用料の額を決定: 著作権等管理事業法の規制対象)

…非一任型 (委託者が使用料の額を決定: 著作権等管理事業法の規制対象外)

複写分野における管理団体の概要

平成17年3月31日現在

団体名	設立年	管理著作物の種類	委託者数	利用者	許諾範囲及び使用料単価	使用料徴収額 (平成15年度)	諸外国の管理団体との 相互管理契約の状況
社団法人 日本複写権センター (JRRC)	平成3年 (平成10年法人化)	日本国内の文芸、脚 本、写真、美術、一般 書、雑誌、学術論文、 新聞	11,701名(著作者) 56,793タイトル(書籍) 1,150タイトル(雑誌) 828学会等(学術論文) 65社(新聞)	企業 政府 教育機関 非営利機関 など	内部利用目的の複写 ページ2円 外部提供目的の複写 複写物の譲渡の対価の10% 又は2円のいずれか高い額 ファクシミリ送信 ファクシミリ送信の対価の10% 又は2円のいずれか高い額	約1億6千万円	-
有限責任中間法人 学術著作権協会 (JAACC)	平成元年 (平成15年中間法人化)	医学系・理工系の学術 誌が中心	828学会等(3,161タイトル)(国内)* 2,360権利者(328,717タイトル)(米国) *国内著作物のうち、内部利用目的 の複写については、日本複写権セン ターに再委託	企業 教育機関 非営利機関 文献提供事業者 など	内部利用目的の複写 ページ2円 外部提供目的の複写 ページ10円 電子化 ページ30円 米国の著作物の複写 ページ50円	約7千5百万円(国内) 約4億9千万円(米国)	Copyright Clearance Center (CCC) (米国の複写権管理団体)
株式会社 日本著作出版権管理 システム (JCLS)	平成13年	医学系、理工系の出版 物が中心	128出版者 (書籍:28,874タイトル、雑誌:2,275タ イトル) *平成15年10月、エルゼビア社(オラ ンダ:アムステルダムに本社を置き、 約1,000点の医学・理工系の雑誌を出版 している出版社)と管理委託契約を締結	文献提供事業者 一般企業 学術団体 図書館 研究所 教育機関 など	内部利用目的の複写 指値 外部提供目的の複写 指値 エルゼビア社の著作物の複写 1論文につき2,400円	約3千8百万円	-

(社) 日本複写権センターの仕組み

